





宇治川
曆光菰賀会

宇治川
曆光菰賀会

宇治川
曆光菰賀会

宇治川
曆光菰賀会

神
戸



河川古用許可標識
 占 用 目 的 京都市立宇治公園(都市公園)
 占 用 面 積 15,821.27 ㎡
 占 用 者 名 京 都 府
 連絡先(電話番号) 京都府山科北土本事務所管理課
 電話：0774-62-0325
 所管事務所 出雲町 京川河川事務所管理課

公園内で
 花火をす
 下程公園では
 下さしな
 の
 愛犬の「ふん」
 持ち帰つて
 ください



鶴飼船
船のりば
観光船

観光船
船のり
舟泊船





浮島十三重石塔

重要文化財 昭和廿八年三月指定

宇治川大橋

大化三年(六四六)僧道奘が創設した我國史上
最古の大橋であったが激流のため屢々崩壊を
及ぼし中絶していた

和寧九年(二二六)奈木大六寺の高僧寂尊
律師(興聖菩薩)が是れを再建復興した

浮島(塔の島)

寂尊律師が宇治大橋を構築するに当り放生
修する所時の道場として築いた島嶼である

即ち島は十四尊大を模した舟型として舟中
大塔婆を建立して大橋の上流一帯は網代と禁制し
漁民の過貝と悉く此所に埋めて水速に殺生禁断
を誓い大橋の再建成就と永世護持を祈願した

十三重石造大塔

弘安九年寂尊律師が大橋の再建成就祈願の
ため建立した日本最大の一石造佛塔である

一見浮島塔は水難三患道の佛塔に基き河水塔敷と
呼んで遠く各名所に傳へたは遊戯曼舞の善縁を結い
清風文雅に能れて右の山界に及ばば鳥獸も亦思報を
及ぼすとする理合に據るものである

塔の周眼法要には竜山玉皇の御尊を拜し大橋の
各處法要と共に修むべき盛衰を極めた

塔高の丈は五尺四寸三厘三厘三厘三厘の諸尊
台座の四方は元全史に羅と撰られたのである

塔中約一尺の(宝曆)の洪水に崩壊した時発見
如意輪觀音像 十三佛 水晶輪山塔 金蓮舍利塔
五穀鈴 紺紙金泥法華經 同女止息并經 全造塔高

浮島大塔の再建

宝曆六年(三二七)未曾有の洪水に崩壊した
大塔は百五十年間河底に沈み埋没したと傳へた

明治元年岡山其の仁福田海主多日正月遷居世
寂尊律師の功徳を継承して大塔の復興と企願する
近畿東海山陽四國の信衆二百餘名協賛し
宇治町若井勘造氏と有力有志者亦参りて支れに協力
同四十二年(二九八)仲秋遂に先く再建の誓願を達成
し大塔を舊方より復元した

周眼法要は各宗寺門に於て敬修司命に及ば福回海は
佛影五百万佛と奉流火燈供養火を修し故三念を行つた
塔の直量廿三寸八分全身基壇は地下下尺五分とし

大塔塔基は三石年終方と埋納の意道台を模した
其塔には可畏戦子神没身六三三寸の守靈石を納め
塔中には寂尊律師が奉藏した如意輪觀音像
十三佛 其の仁福田國請来の全造釈迦如来と
安置し頂上の玉皇廟方には水晶宝珠と宝剣と

納藏した 石原法成 小松美樹 佐藤井吉

大塔再建二十周年記念
橋寺教三院

浮島十三重石塔

重要文化財 昭和廿八年三月指定

宇治川大橋

大化二年（六四六）僧道奘が加不訖した我國史上
最古の大橋であったが激流のため屢々流失し
久しく中絶していた

弘安九年（一一二六）奈良西大寺の高僧寂尊
律師（眞正菩薩）が是れを再建復興した

浮島（塔の島）

寂尊律師が宇治大橋を構築するに先づ放生会を
修する祈禱の道場として築いた島嶼である

即ち島は五十四尊大念を模した舟型とすその中央に
大塔婆を建立して大橋の上流一帯は網代と標示して
漁及の漁具を悉く此所に埋めて永遠に殺生禁断
を誓い大橋の再建成就と永世護持を祈願した

十三重石造大塔

弘安九年寂尊律師が大橋の再建成就祈願の
ため建立した日本最大の一石造佛塔である

一見率塔婆、水離三悪道の佛語に基き河水塔影と
浮べ下遠く大瀧海に漕ぎ下は魚散曼甘ら善縁を結い
清風支提に触れて云く山野に及ばば鳥獸も亦悪報を
免むとすむ理念に據るものである

塔の閉眼法要には高島山上百重の御草を拜し大橋の
落度法要と共に嘗てなされ盛衰と極めた

塔高の五丈六尺は五知如来十三層塔十三天女の諸尊
台石の九丈四方は九念菩薩羅と擬されたのである

塔中納藏の（宝曆の）洪水に罹り壊した時（見）

如意輪觀音像十三層、木造三輪の塔（金造令利塔）

大塔婆とて遺棄して大橋の上流一帯は網代と称示制して
漁民の過員とを悉く此所に埋めて、水遠に殺生禁断
を誓ひ大橋の再建成就と永世護持を祈願した

十三重石造大塔

弘安九年、弘尊律師が大橋の再建成就祈願の
ため建立した日本最大の石造佛塔である。
一見率塔婆、水離三悪道の佛語に基き河水塔敷と
呼んで、遠く大見海に灌下は魚散見すら音縁を結い
清風支提に融れて、石く山野に及ば鳥獸も亦悪報を
免るゝする理念に據るゝのである。

塔の関眼法要には、龜山石皇の御亭を拜し大橋の
落慶法要と共に嘗てなされ盛衰と極めた。

塔高の五丈、又は五智如来十三層、十三天の諸尊
台石の九又四方は九念法、陀羅と擬木したものである。

塔中納藏の、(宝曆の八洪水に崩壊した時発見)
如意輪觀音像、十三佛、水晶五輪小塔、金造舍利塔
五鈿鈴、紺紙金泥法華經、月夜、皇太后經、金造塔筒

浮島大塔の再建

宝曆六年(一七七六)未曾有の八洪水に崩壊した

大塔は百五十年間河底に沈み埋没した終つて、

明治世八年岡山县の仁福田海主多日王月蓮居士
が、尊律師の教言寺と継承し大塔の復興とを企願する

や近畿東海山陽四國の信衆、三有隨喜協共し

宇治町岩井勘造氏を首め有志者亦萃つて又これに協力

同四十一年(一九〇八)仲秋遂に克く再建の誓願と達成

し、大塔往古の遺蹟を復元した。

関眼法要は各宗寺門、又々取修司余に及、福田氏は

串影五百万円と奉流、水登供養、修し、三念と行きた

浮島大塔の再建

昔唐土要と共に嘗てなまれ盛んを極めた
塔高の足丈、人は五言如来十三層塔十二人の諸尊
台石の九又四方は九念仏陀羅尼と擬木したものである
塔中納藏の(一)宝曆の六洪水に崩壊した時発見
如意輪觀音像 十三佛 水晶五輪小塔 金造舍利塔
五鈷鈴 紺紙金泥法華經 日蓮聖王并經 金造塔高

宝曆六年(一七五六)未曾有の六洪水に崩壊した
大塔は百五十年間河底に深く埋没した儘となつた
明治廿八年岡山县の仁福田海主多日青蓮居士
敬尊律師の放言肯を継承し大塔の復興と念願する
や近畿東海山陽四國の信衆二百有餘隨喜協賛し
宇治町岩井勘造氏を首め有志者亦奉つて之れに協力
同四十一年(一九〇六)仲秋遂に克く再建の誓願と達成
して大塔往古の雄姿を復えしめた
開眼法要は各宗寺門次々敬修司余に及び福田海は
佛影五百万像と奉流水燈供養と修し放生会を行つた
塔の直量廿三万八千余身基盤は地下十二五方とし
大般若經一字二石宇終石と埋納、葉蓮台を模擬した
基壇には甘露戰爭陣没將兵廿三万、千靈石を納入
塔中には敬尊律師が奉藏した如意輪觀音像と
十三佛と新たにシヤム國請來の金造釈迦如来と
安置し頂上の宝蓋空藏石には水晶宝珠と宝剣と
納藏した

右京嵯峨 小林美樹雄 撰并書

大塔再建五十周年記念

橋寺 放生院

















文化財愛護

重要文化財

宇治神社

本殿・御神像

鎌倉時代初期

火氣嚴禁

HITACHI





うらく
兎楽の樹

河内の国から来られる菟道稚郎子（うじのわきいら
っこ）皇子を、兎が先導し、振り返りながらお連れ
した場所がこの宇治神社です。

その兎達が、今も楽しく集い戯れる宇治神社を象徴
する樹が、この楠の樹です。

ほら、楠の足下に楽しそうな兎達が見えるでしょう。

宇治神社

